

「糖尿病」と「多剤併用」について

何種類の薬を併用していたら多剤併用と呼ぶのかについて、明確な基準はありません。しかし5～6種類以上の薬を服用している状況を多剤併用と呼ぶ見解や研究が多いかと思えます。糖尿病治療のために、そして合併症治療のために、多剤併用であっても、必要最低限の薬とともに過ごしていくことは重要なことです。

✦ 糖尿病治療薬の種類と主な薬剤名

種 類	主な薬剤名
SU薬	オイグルコン・ダオニール・グリミクロン・アマリールなど
グリニド薬	スターシス・ファスティック・グルファスト・シュアポストなど
DPP-阻害薬	グラクティブ・ジャヌビア・エクア・ネシーナ・トラゼンタ・テネリア・スイニー・オングリザ・ザファテック・マリゼブなど
ビグアナイド薬	メトグリコ・グリコラン・ジベトス・ジベトンSなど
チアゾリジン薬	アクトスなど
α-グルコシダーゼ阻害薬	グルコバイ・ベイスン・セイブルなど
SGLT2阻害薬	スーグラ・フォシーガ・ルセフィ・アブルウェイ・デベルザ・カナグル・ジャディアンスなど
インスリン製剤	ノボラビット・ヒューマログ・アビドラ・ランタス・レベミル・トレシーバなど
GLP-1受容体作動薬	ビクトーザ・バイエッタ・リキスミア・トルリシティなど

2型糖尿病は生活習慣病の1つとされていますが、生活習慣に関連した疾患としては、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症なども含まれ、それらを合併している方は少なからずおられます。糖尿病の三大合併症といえ、頭文字をとって「し・め・じ」で表される細小血管合併症があります。それ以外にも、糖尿病との関連性が指摘されている疾患はあり、たとえば疾患の頭文字をとって、「い・の・し・し」と「こ・が・に」などがあります。

細小血管合併症



- ① 神経障害
- ② 眼(網膜症)
- ③ 腎症

その他の合併症



- ④ 易感染(免疫力の低下により、細菌・ウイルスなどによる感染をしやすくなること)
- ⑤ 脳梗塞
- ⑥ 歯周病
- ⑦ 心血管イベント



- ⑧ 骨粗しょう症
- ⑨ がん(一部の)
- ⑩ に 認知症

糖尿病は、全身のさまざまな疾患と相互に影響を及ぼし合っていることがあります。そして、もしこれらの疾患を合併した場合には、合併症の治療薬や、その進行を遅らせたり、症状を緩和する薬も使用することがあるため、多剤併用をせざるを得ない状況になるかもしれません。安易な多剤併用にならないようにするためには、合併症を増やさないための生活習慣上の取り組みも必要になるでしょう。

次回は、3月17日(火)テーマ「糖尿病と高血圧について」です

春日野会病院 糖尿病教室